学校番号	315

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「増補新版　現代の国語」　（数研出版）						
副教材等	新訂版　最新国語便覧　（浜島書店） セレクト漢字検定　５級－２級　確認と演習　三訂新版（桐原書店） 新訂版　正しく読み・解くための力をつける現代文ステップ１（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業中は学習活動に集中し、文章の内容について論理的に考える習慣をつけましょう。
・先生の話やクラスメイトの発言は、その内容や意図について意識しながら聞きましょう。
・小テスト、定期考査、漢字検定などに向けて日頃から計画的に、継続して学習しましょう。
・積極的に普段から本を読み、読む速さや語彙を高めましょう。その際に分からない言葉が出てきたら、すぐに辞書を引いて調べましょう。
・興味を持った事柄は、インターネットや辞書、書籍等を利用して積極的に調べてみましょう。

２　学習の到達目標

・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他社との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一	作者が自身の体験から得た考えを読み取り、自分の生活をかえりみるきっかけを得る。 ［教材］ ささやかな日常	a:比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。 b[話/聞]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要点を把握している。 c:筆者の主張を叙述から理解し、適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物	ワークシート 振り返りシート ノート等の提出物 授業態度
	文章の構造を読み取り、例示を基に筆者の論について理解する。 ［教材］ 一人の中にある無限	a:比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。 b[書]:多様性について書かれた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 c:例示を基に筆者の論じる多様性について理解し、自分の考えを持とうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物	ワークシート 振り返りシート ノート等の提出物 授業態度
	東西の対比関係を用いながら、日本の水文化について論じる叙述の方法を把握する。 ［教材］ 水の東西	a:内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 b[書]:東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 c:情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物	ワークシート 振り返りシート ノート等の提出物 授業態度
	本文の例示を基に、筆者の考えるコミュニケーション能力について理解する。 ［教材］ コミュニケーション能力とは何か	a:比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。 b[読]:文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 c:筆者が論じるコミュニケーション能力と。自分の考えを比較し、理解しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物	ワークシート 振り返りシート ノート等の提出物 授業態度
	筆者が経済学の普遍的な話をもとに主張している内容を読み取り、自分の意見をまとめる。 ［教材］ わらしべ長者の経済学	a:筆者が論の主張のために、各国の小話を紹介している意図を読み取る。 b[話/聞]:各国の同じような話題をもとにして、経済についての自分の意見をまとめる。 c:自分の意見を本文の内容や自分で調べた内容を基にまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物	ワークシート 振り返りシート ノート等の提出物 授業態度
	筆者が論を展開するために引用している例を把握し、そこから筆者の主張を読み解く。 ［教材］ 歴史を学ぶということ	a:背景知識を理解したうえで、筆者がそれをどう論に組み込んでいるかを理解する。 b[書]:筆者の主張を基に、適切な作品例を調べ、自分の意見をまとめようとしている。 c:具体的な作品を例に挙げ、筆者の意見に則り考察し、筆者の主張を読み解こうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物	ワークシート 振り返りシート ノート等の提出物 授業態度

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
二	『羅生門』についての筆者の考えを理解したうえで、自分の批評文を書く。 ［教材］ 羅生門の最後の一文	a:『羅生門』について筆者がどのように批評しているのかを読み取っている。 b[書]:『羅生門』について、自分の考えを効果的に伝えられるように論の展開や構成を工夫している。 c:作品について、自分の考えを持ち、文章の構成に気を付けながら批評分を書こうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物	ワークシート 振り返りシート ノート等の提出物 授業態度
	抽象的な文章を読み解き、筆者が会話をどのように分析しているかを読み取る。 ［教材］ 会話という現象	a:抽象的な内容について、本文の叙述をもとに筆者の主張を読みとる。 b[話/聞]:抽象的な文章を読みコミュニケーションとマニピュレーションの違いを説明することができる。 c:身近なものでありながら抽象的な会話について、実体験を基にしながら筆者の考えを理解しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物	ワークシート 振り返りシート ノート等の提出物 授業態度
	コミュニケーションとマニピュレーションについて、実際の作品を基に理解を深める。 ［教材］ スライダーズ・ミックス	a:実際の作品を基にコミュニケーションとマニピュレーションの違いを理解している。 b[話/聞]:作品を基に、自分の言葉でコミュニケーションとマニピュレーションの内容を説明することができる。 c:実際の作品を基に、コミュニケーションとマニピュレーションの違いを理解しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物	ワークシート 振り返りシート ノート等の提出物 授業態度
	政治に関する筆者の視点を読み解き、自分のこれまでの認識との違いを理解する。 ［教材］ 政治的思考	a: 筆者が論じる政治についての考え方を理解している。 b[読]:筆者の論を本文の情報を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:政治について、筆者の論を把握し、自身が持っていた考えと比較して理解しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物	ワークシート 振り返りシート ノート等の提出物 授業態度
	実用的な文章と芸術的な文章の共通点を理解し、文章を書く上で大切なことは何かを考える。 ［教材］ 実用的な文章と芸術的な文章	a: 筆者が論じる二つの文章の共通点を理解している。 b[書]:二つの文章の共通点を読み解き、そこから自分が考える文章の重要な点について、まとめている。 c: 筆者の論をふまえて、自分の考えを相手にわかりやすいようにまとめている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物	ワークシート 振り返りシート ノート等の提出物 授業態度
	具体(例示)と抽象(意見)の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。 ［教材］ ものとことば	a:具体と抽象の関係について理解し、筆者の主張を理解している。 b[読]:本文内の情報を把握しながら、筆者の主張について理解する。 c:ことばによって思考が成り立っていることを理解し、それを自分の言葉でまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物	ワークシート 振り返りシート ノート等の提出物 授業態度

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
三	筆者の主張を本文全体をふまえて、具体的に説明する。 ［教材］ ポスト・プライバシー	a：筆者の考える情報社会でのプライバシーについて、理解している。 b[話/聞]：筆者の主張を相手が理解しやすいように、具体的に説明している。 c：筆者の考えをふまえながら、自分が生きる実社会に関する考察を深め、わかりやすく説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物	ワークシート 振り返りシート ノート等の提出物 授業態度
	本文の中の指示語等に気を付けながら、筆者の主張を理解する。 ［教材］ 他者を理解するということ	a：本文の指示語に注意しながら、筆者の考えを理解している。 b[読]：他者との関わりについて、筆者の論の要点や要旨を把握しようとしている。 c：本文の論理展開に注意しながら、筆者の主張を理解しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物	ワークシート 振り返りシート ノート等の提出物 授業態度
	批評分の特徴を理解し、『夢十夜』に関する筆者の考えを説明し、自分の考えをまとめる。 ［教材］ 無意識を滋養する術	a：『夢十夜』に関する筆者の考えを理解しようとしている。 b[書]：『夢十夜』に関して、筆者の考えを理解したうえで、自分の考えをわかりやすくまとめる。 c：『夢十夜』に関する自分の考えをまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート等の提出物	ワークシート 振り返りシート ノート等の提出物 授業態度

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２５　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　１５　）時間